

国際児童保護証明書 (ICPC)

ICPC とは何ですか？なぜ必要何ですか？

英国の全国犯罪局(NCA)と ACRO 犯罪記録所が共同主導して ICPC を開発しました。ICPC は、英国外の子どもを英国人もしくは英国に在住したことのある人で、子どもに害を与える目的で弱い立場にある子どもにアクセスするため海外に渡航する人からの危険守ります。ICPC は、子どもを性的虐待、身体的暴力、心理的暴力もしくはネグレクトの危険から守ります。こういった犯罪者は、雇用、ボランティア活動、チャリティワークを通して子どもとの直接の接触を求めます。ICPC の目的はこれを防ぐことです。

ICPC は、警察および英国の情報機関のデータベースを利用した犯罪記録のチェックです。英国外で子どもと接する仕事を求めるすべての英国人（およびかつて英国に在住したことのある非英国人）に関して、組織が申請できます。ICPC は、既に雇用されていて、子どもと接する仕事をしている個人に関して申請できます。

ICPC と既存の強固な保護手順を併用すれば、英国外の学校や組織は、雇用しようとしている人物が子どもと接する仕事にふさわしいかに関し、十分な情報を得て、リスクを冒さずに決断をできます。

採用過程に ICPC を組み込むことで、既存の手順にもう一つの重要な保護手順を追加でき、子どもを虐待もしくは搾取しようと企てている個人から子どもを守ることができます。

証明書の内容は？

証明書には、英国で侵された犯罪に関する有罪情報と既存の情報共有システムを通して英国に開示された英国外で侵された犯罪に関する有罪情報が記載されています。さらに、ICPC 過程の一環として、NCA は入手可能な諜報情報の審査を行い、子ども保護の目的にかなうとみなされる情報を証明書に開示します。

証明書は二部構成となっています。

- 第一部：[ACRO ステップダウン・モデル](#)に基づいて英国の警察データベースに保持されている有罪判決、起訴の予定、警告、訓戒、注意および進行中の調査に関する情報。
- 第二部：申請者の子どもや若者に対するリスクを通知するために、NCA が開示目的にかなう、相当すると判断したその他の情報。

重要：ICPC は、申請者が子どもと接する仕事にふさわしいかを決定するものではありません。むしろ、雇用者は ICPC を自社の通常の保護方針と併用して、十分な情報に基づく決断をする追加ツールとして使うべきです。

学校や組織はどのように **ICPC** を使うのですか？

ICPC 過程を利用するには、申請機関は以下の条件をみたさなければなりません。

- こどもと接する仕事をしている
- 英国にかつて在住したことのある人物を含む、英国からのスタッフあるいはボランティアを雇用している
- 英国と公式なつながりがなく、英国開示および阻止サービス (DBS) にアクセスできない。

ICPC 申請費用は、雇用を求めている個人が支払います。手数料に関しては、www.acro.police.uk/icpc を参照してください。証明書は、申請者が要請したときのみ発行されます。雇用者が申請者に代わって申し込むことはできません。ICPC を雇用前の調査の要件とすることで、従業員に ICPC の提出を求めることを勧めます。既に雇用されている個人に関しては、継続審査手続きの一環として、定期的に ICPC の提出を求めることが推薦されます。

個人に ICPC 証明書の提出を求める場合には、ACRO のウェブサイト (www.acro.police.uk/icpc) で申請形式 に記入するよう指示してください。過程に関するガイダンスは、ウェブサイトに記載されています。

ICPC は、発行時点で入手できる警察および諜報機関のデータベースに記載されている情報のみを含みます。従って、発行日以降の有罪判決は示されません。従業員がどの程度の頻度で ICPC を更新するかは、雇用者の判断に任されています。

組織がスタッフを代表して申請書を提出することも可能ですが、申請書は申請者本人が記入し、署名しなければなりません。ICPC は直接申請者に発行されます。組織には送付されません。

DBS チェックを利用できる英国外の組織は、採用予定者や既存の従業員に ICPC の提出を求めることはできません。この場合には、DBS を通した通常の申請が適用されます。

ICPC のさらなる詳細に関しては、www.acro.police.uk/icpc を閲覧してください。